神　惑
JINWAKU RUGBY FOOTBALL CLUB

2023 安全・インティグリティ伝達講習会

2023.07.16　神奈川不惑クラブ

2023　安全・インティグリティ伝達講習会
目　次

１．安全なラグビーの実現に向けて
２．脳震盪について
３．Scoop Stretcherを使った負傷者の搬送方法
４．頸髄損傷の撲滅に向けて
５．インテグリティへの取り組みのお願い
付録１．AED活用推進（参考）
付録２．「安全対策」のための参考資料

神　惑
JINWAKU RUGBY FOOTBALL CLUB

2023　安全・インティグリティ伝達講習会

1．安全なラグビーの実現に向けて

2023.07.16　神奈川不惑クラブ

安全対策ビジョンとターゲット

- 安全対策ビジョン
  - ラグビーにおける安全管理の重要性を指導者もプレーヤーも理解し、日々の練習・試合および日常生活において実践し、**"重症事故"の発生を防ぐ**。
- 安全対策ターゲット
  - 重症事故ゼロの実現

協会の安全対策の制度

- 傷害報告および見舞金制度、重症傷害報告、脳振盪報告

• 傷害報告および見舞金制度

登録されているプレーヤー及びチーム関係者に「見舞金給付表に該当する傷害」が発生した場合、チームの代表者は「傷害報告書１（見舞金請求書）、傷害報告書２」に必要事項を記入の上、30日以内各都道府県協会に提出する。診断名が確定次第、「傷害診断書」を速やかに都道府県協会に提出すること（原則、受傷後6ヶ月以内）。

〇登録者見舞金制度実施要項
https://www.rugby-japan.jp/future/documents/mimaikin/

〇各種申請書一覧
https://www.rugby-japan.jp/future/documents/

• 重症傷害報告

事故発生後、3日以内に都道府県協会に報告する。
不明の点は後日判明次第報告のこと。
死亡以外の重症傷害については、第一回目の報告後、2カ月後と6カ月後にその後の病状を報告する。

https://www.rugby-japan.jp/future/documents/serious/

• 脳振盪報告

「脳振盪／脳振盪の疑い報告書」はチーム責任者・担当レフリー・マッチドクターに義務づけられ、各々が報告書を提出することになっている。提出先は、大会であれば大会本部か主管する実行委員会、または支部協会。高校生の場合は都道府県高体連ラグビー専門委員長となる。

https://www.rugby-japan.jp/future/documents/

用具・練習環境へのガイド

・プレーヤーの用具

用具	目的・考慮点など
ヘッド キャップ	頭部と耳の外傷を防ぐ。頭部への直接的な衝撃への保護効果がある。
マウスガード	マウスガードは歯と、その周りの軟部組織を保護し、顎顔面外傷の予防に役立つ。脳振盪予防の効果も期待できる。
パッド	打撲・切り傷・擦り傷などへの対応に有効。
ラグビー ゴーグル	視力の弱い方、目の保護が必要な方に向けたゴーグル。(WRより試験的認定)

・練習環境/医務用具

用具	目的・考慮点など
グラウンド	周辺のフェンスや囲いなどとの十分な距離の確保。(min 3m) ゴールポストが適切なパッドで覆われていること。
練習用具	スクラムマシン、タックルダミーなどの安全性確認
医務用具	救急対応に必要とされるものを整備 AEDは心臓震盪対応に必須

重症傷害の定義

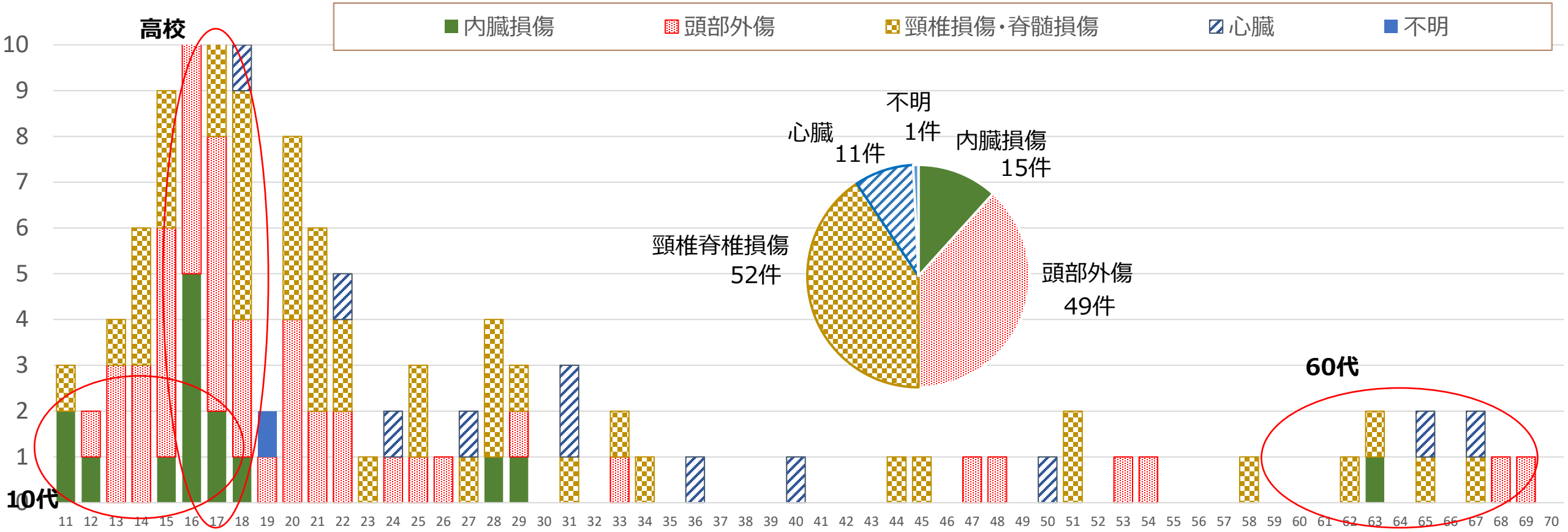
- 重症傷害は次のように定義される
  - 死亡
  - 頭蓋骨折の有無に関係なく24時間以上の意識喪失を伴う障害
  - 四肢の麻痺を伴う脊髄損傷
  - 開頭および脊椎の手術を要したもの
  - 胸・腹部臓器で手術を要したもの
  - 上記以外で診断書で重症と思われるもの

重症傷害分析＜傷害別＞ (2016/4 -2022/12)

2016年4月から2022年12月までの重症傷害　128件を対象に分析

※届いた報告書すべてを計上

- 高校生での事故は全体の38%
- 内臓損傷15件中12件は10代（含. 小5男子、高3女子）
- 心臓11件は10代（1名）、20代（4名）、30代（3名）、40代（1名）、60代（2名）



各カテゴリーへの安全についての考慮点

- 安全について特に注意を要すると考えられる以下のカテゴリーに対して、安全に関する考慮点を示します。

□シニア

□女子

シニアの安全対策

注意してほしい怪我/事故

- 頭部外傷、頚椎損傷

50歳以上の重傷事故(頭部外傷、頚椎損傷等)の増加

- 十分なトレーニング、十分な準備
- 適切なレベルでの練習、試合
- 負傷、事故への適切な対応
- 既往歴への対応

(ex.抗血栓薬を服用している場合はコンタクトプレーは避ける)

抗血栓薬服用中のプレーについて

2019年の重症事故の中に、抗血栓薬を服用していたために脳内出血が重症化したと考えられる事故がありました。高齢者のラグビー愛好家も増えている中で、このような事故が発生しないように、十分な配慮が必要です。

日本脳神経学会や日本脳卒中学会などでは、血液を固まらせにくくする薬（抗血栓薬）を飲んでいる方々への注意として、頭部外傷で頭の中に出血した場合には、その出血が止まりにくくなる事があるために早めにCTがとれる医療機関への受診を勧めています。

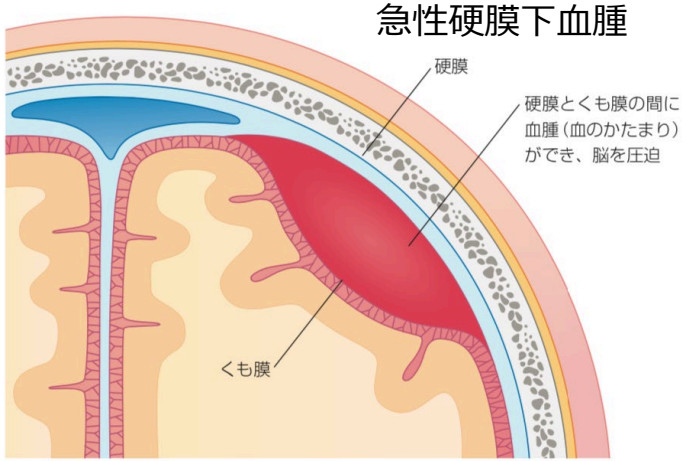
日本ラグビーフットボール協会では、脳振盪を起こさないような軽い頭部打撲でも、抗血栓薬内服中の選手が試合や練習後にいつもと違う様子であったり、選手自身がおかしいと感じたときには、早めに病院受診することを推奨します。

→すぐに救急車を手配してください。(タクシー、自家用車はNG)

【抗血栓薬】

抗凝固薬
ワーファリン、リクシアナ、プラザキサ、リクシアナ、イグザレルト
抗血小板薬
アスピリン、クロピドグレル、シロスタゾール

急性硬膜下血腫



女子ラグビープレイヤーの安全対策

女子の幼児期からシニア期までの特徴と留意点

	特徴と安全対策留意点　（※重要）
幼児・小学生	心身が目覚ましく発育する時期であり個人差が大きい。指導者は、個々の成長状況を見ながら、生涯に向けてプレーすることの楽しさや安全なプレーの基礎を指導する。 ※ケガ等、異常の早期発見（指導者の細かい観察と声かけ）
中学・高校生（含小学高学年）	第二次性徴（女性ホルモン）により、男子よりも早く体の成長が見られる。全身の筋骨格は男性に比べて細く、　特に脳の軸索は男性よりも薄く微細管の数が少ないため頭部への衝撃リスクが高い。ケガ防止のため、体幹及び各部位筋肉トレーニング、食事指導が重要。 ※脳振盪、頚椎損傷、肘膝肩のケガ、体調管理（月経随伴症状や貧血）
トップアスリート	過トレーニングによる筋肉・骨折疲労の注意をおこなう。全身、及び各部位筋肉トレーニング＆管理、食事面の　継続した管理が重要である。 ※脳振盪、頚椎損傷、女性アスリート3主徴（低栄養、無月経、骨粗鬆症）
シニア	一般的に活動・運動量が減ることから、プレー前の十分なストレッチ等ケガ予防が必要である。女性ホルモンの減少に伴い、心身状況に大きな変化がおこる。 ※脳振盪、頚椎損傷、肘膝肩のケガ、体調管理（骨粗鬆症、更年期障害、持病の管理）

ラグビーにおける安全管理プロセスの整備

実施計画書をもとに、日々の安全対策を実施し、定期的・非定期的な点検のもとに管理を進める。

計画・評価

安全管理目標設定 ⇄ 目標達成状況評価

実施計画書

管理

情報管理
- 日誌
- 名簿
- 故障情報
- 協会登録情報

保険管理
- 加入状況
- 執行状況

体制管理
- 責任者
- 専門スタッフ

競技管理
- 安全なプレー
- ルール
- 交代・入替
- 自然対応

資料管理
- 教材/VIDEO
- 各種配布物/通達
- 各種統計

予防

健康診断
- メディカルチェック
- 日次チェック

トレーニング
- スキル
- フィットネス

安全教育
- スポーツ医学
- 栄養
- メンタリティ

装備装着
- テーピング
- ヘッドキャップ
- マウスガード

環境整備
- 施設
- 用具
- EAP

事故対応
- 試合
- 練習
- その他

発生時対応
- 初期対応
- 救急連絡

⇒

発生後対応
- 連絡/報告（関係者, 協会）
- 記録
- 保険請求

神奈川不惑クラブ安全ラグビー10ヶ条
～怪我をしない、させない、怪我しても軽微に抑える為に～

ラグビーは紳士淑女のスポーツ、頭脳が9割と言われるスポーツです。我々神惑メンバーはその誇りを持ちつつ、家族、仲間、対戦相手、レフリー等ラグビーを行うにあたって協力してくれる仲間達への感謝の気持ちを大事にしています。
重症事故が発生して、自身や周りの協力者が誰一人として不幸にならない為にも、如何にして安全ラグビーを実践・推進するかを常に意識して活動します。

神惑安全ラグビー　10ヶ条

①練習や試合に臨む準備が出来ている
(個人での基礎体力作り、疾患への各自の注意、参加時の前向きな気持ち等、心技体の準備は万全か？)

②ラグビー協会や神惑の安全対策・ルール講習を積極的に受講する
（最新のルールやスキルを理解しているか？）

③練習や試合参加時は自身のラグビー用具の安全確認を行う
(スパイクのポイントが刃の様に尖ってないか、ジャージやパンツが破れてないか等のチェックは行ったか？)

④安全対策用のプロテクターを装着する
(マウスピース、ヘッドキャップ、ショルダーガード等はきっちり装着しているか？)

神惑安全ラグビー　10ヶ条（続き）

⑤全体休憩以外にも自身のタイミングで適宜水分補給や休憩を行う
（自身の体力や身体の状態を考えて適宜水分補給や休憩を行っているか？）

⑥プレー時の安全姿勢や正しい姿勢を習得して実践する
(自信や周りのメンバーは、逆ヘッドタックルしていない、受け身、頭下げない等の安全姿勢は取れているか？）

⑦ラグビー憲章に則りプレーして最新ルールを理解し遵守する
(品位・情熱・結束・規律・尊重を実践し、フェアプレーの精神で臨んでいるか？)

⑧ラグビーはボールゲームなので極力コンタクトしない様なプレーを心掛ける
(捕まる前にボールを繋ぐ、タックルされたら素直に倒れる等の実践が出来ているか？)

⑨ウォーミンアップやクールダウンやストレッチを行う
（いきなり走ったりぶつかったりするのは身体にも負担がかかり怪我のもと）

⑩緊急連絡先情報を携帯する
(会員各自のバッグに装着して家族や身近な人に連絡出来る様にする)

各種保険の活用

- スポーツ安全保険
- スポーツ・文化法人責任保険
  - 問い合わせ先　(公財) スポーツ安全協会

http://www.sportsanzen.org/hoken/

その他
・ボランティア活動等災害補償保険
・レクリエーション保険　　など

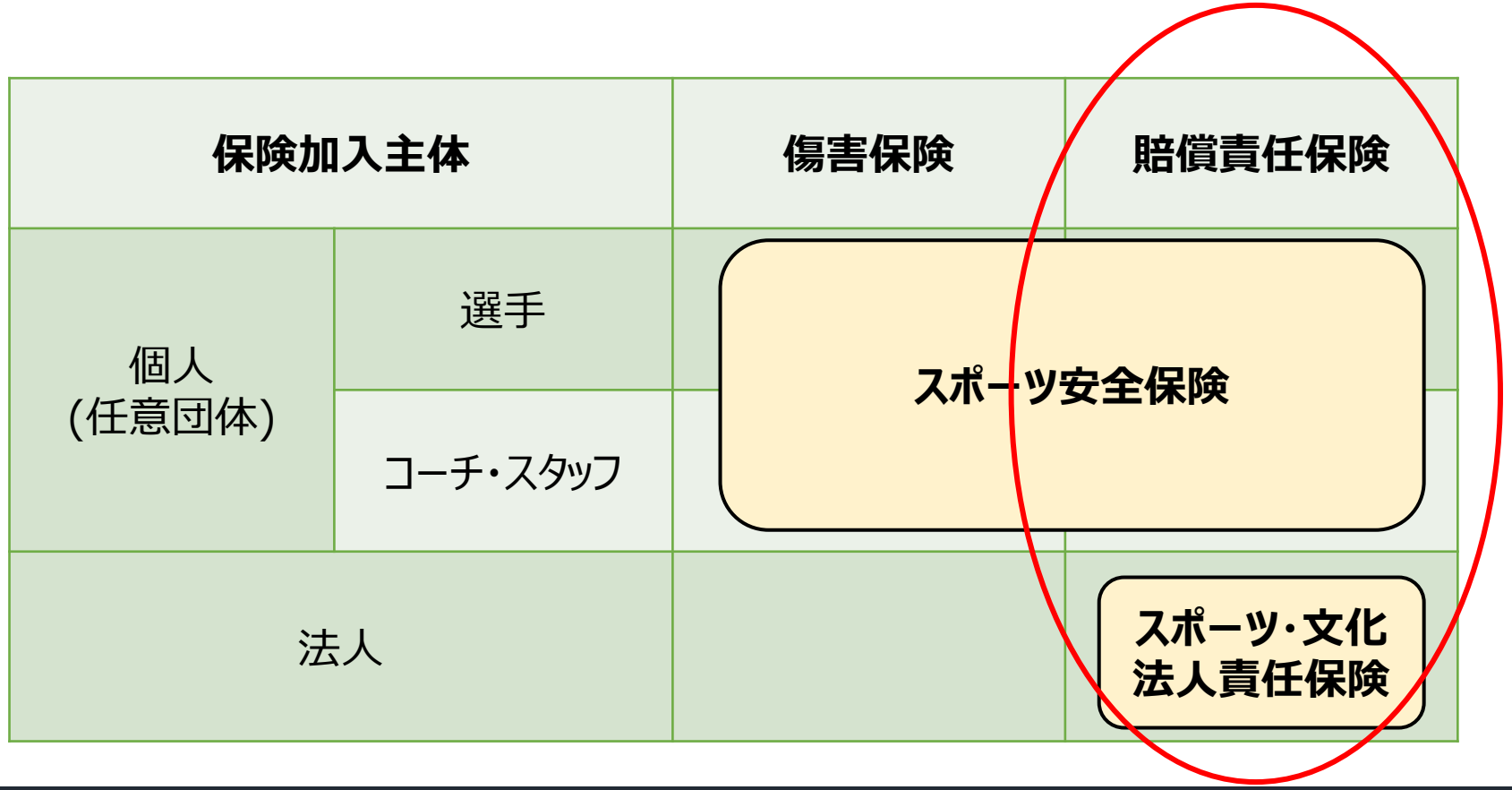
神惑HP　Info「保険・見舞金手続き」を参照してください。

- **日本ラグビーフットボール協会傷害見舞金制度**
  - あくまでも見舞金制度であり、高額の治療費及び高額の賠償金を支払う場合には対応できない。
  - 問い合わせ先　都道府県ラグビーフットボール協会

各種保険の活用(続き)

- スポーツ安全協会が提供する傷害保険/賠償責任保険

傷害保険と賠償責任保険の目的・制度を正しく理解して利用する。



今後、神戸の法人化を目指していますので、賠償責任保険も重要になってきます。

スポーツ安全保険とラグビー協会見舞金手続き　１

Ⅰ　スポーツ安全保険概要

4 月 1 日を基準として 65 歳以上　B 区分

64 歳以下　C 区分

傷害保険 保険金額

事故の日からその日を含めて１８０日以内の死亡、後遺障害、入院、手術、通院について下表のとおり保険金が支払われます。ただし、通院保険金の支払日数は、１事故について３０日が限度となります。

加入区分	対象範囲	死亡	後遺障害（最高）	入院（1 日につき）	通院（1 日につき）
C	団体活動中とその往復中	2,000　万円	3,000　万円	4,000 円	1,500 円
B		600 万円	900 万円	1,800 円	1,000 円

※入院、通院については治療日数１日目から補償されます。

※4 月 1 日以降の新規入会者および会費未納者が 4 月 1 日以降に会費を納入した場合は、入金確認後にスポーツ安全協会への追加加入手続きを行います。

スポーツ安全保険とラグビー協会見舞金手続き　２

Ⅱ　事故通知とスポーツ安全保険の処理

1．神惑HP＞Info＞保険＞オンライン事故通知
　にて受傷者または代理人が事故申請を行う。
２．hoken@jinwak.org（安全委員）宛に事故申請が届く。
３．安全委員担当者が、スポーツ安全協会へ事故通知を行う
４．申請者宛に申請書一式が郵送される。
５．申請者は、申請書を記載して安全委員担当者宛に提出
（担当：310坂倉　配布している会員名簿で確認してください）
６．安全委員担当者は記入事項の確認とクラブ側での記載と責任者の捺印を行い、スポーツ安全協会へ郵送する。
７．スポーツ安全協会から、指定口座へ入金される。

スポーツ安全保険とラグビー協会見舞金手続き　3

Ⅲ　協会見舞金の処理

下記ホームページから、3-④傷害見舞金給付表を参照して、対象となる事故かどうかを判断してください。
対象であれば下記の申請をお願いします。
手続きの詳細はJRFU傷害報告ガイド(含む重症傷害・脳振盪)と3-⑤傷害発生時の事務手続きを参照。

1. 神惑HP＞Info＞保険＞オンライン事故通知
にて受傷者または代理人が事故申請を行う。
見舞金申請を行う場合は、協会への申請期間が短いため、事故後速やかに申請をお願いします。

２．協会見舞金申請（重症傷害事故以外）は、申請者が日本協会のHPから見舞金申請にあたる怪我かどうかを判断して申請を行う（傷害発生日から30 日以内 に神奈川県協会着で提出する必要があります。事故報告ですので、この時点での診断書は不要）。

３．hoken@jinwak.orgから安全委員宛に事故申請が届く。

４．役員内で事故状況を共有する。

５．協会への見舞金申請がある場合には、安全委員担当者が3-①傷害報告書1（見舞金請求書）の記載に必要な項目を申請者へ通知する。（担当：171河原）

６．重症事故の場合、チーム責任者が神奈川県ラグビー協会へ3日以内に障害報告を行う。
（チーム責任者　神惑：135市橋　リリーズ：99遠藤）
※ラグビー協会登録メンバーとスポーツ安全協会登録メンバーは異なるので注意

７．申請者は、3-①傷害報告書1（見舞金請求書）と3-②傷害報告書2を記載して安全委員担当者宛に提出
（担当：310坂倉　事故発生から3週間以内を目途）

練習体験者への保険

体験で参加していただく方に対しては、神惑で加入しているスポーツ安全保険の対象外となります。
そこで、体験開始前までに1日だけでも加入できる保険の加入を勧めてください。
当日でも加入できます。
Pontaかんたん保険　スポーツ保険
参考：50歳男性　1日　117円
https://ponta.pointhoken.jp/details/9a614dc0-fa9e-429c-be24-38876ab9691b

大会開催時の保険

大会開催時に不特定多数の保険をかける場合には、下記のようなものがあります。
グッド保険サービス　イベント賠償責任保険
参考：プランF　70名まで　1日　5,000円

https://www.goodhoken.co.jp/event-baiseki3/

スポーツマウスガード使用のお願い

神奈川県ラグビーフットボール協会医務委員会

関東ラグビーフットボール協会メディカル委員会歯科委員会ではカスタムメイドのマウスガードの使用を推奨しています。
不適切なマウスガードの使用で怪我を誘発させた報告もあります。
スポーツマウスガードの経験がある歯科医師に作成してもらいましょう。

多くのラグビー選手に安価で適切なマウスガードを提供できるように、認定講習会を開催し、受講者のネットワークをつくっています。
マウスガード作成を希望される個人、チームの方は以下の連絡先へご連絡ください。近隣でマウスガードを作成できる医院をご紹介します。
価格：5,000円（単色）

連絡先：神奈川県ラグビーフットボール協会医務委員会
小林伸: 歯科委員長登戸歯科医院
アドレス：sinn-k@msh.biglobe.ne.jp
電話：044－933－3366

加藤智弘：歯科委員横浜南共済病院口腔外科
電話：045－782－2101

ネームタグの配布について

2022/06/26～グランドでネームタグを配布しています。
（持っていない方は、河原・塩島まで連絡ください。）
グラウンドで意識のない状態となり、救急車で運ばれるような緊急事態になった際に、まわりにいるメンバーが負傷者の家族等に連絡ができるようにするため、ネームタグを配布します。
グランドに来る時のバッグに必ず着用してください。
個人情報保護のため、ネームタグは外さない限り、外からは見えないようになっています。

ネームタグの表面　氏名・生年月日（西暦）（年齢が計算しやすいように）

裏面・緊急連絡先（続柄）
・既往歴（例　脳震盪、不整脈、高血圧、痛風、糖尿病、脳卒中等）
・常服薬
（既往歴、常服薬は、救急隊員や医師に伝えるための情報となります。）

●緊急時対応計画：EAP（イーエーピー）

イマージェンシー　アクション　プラン（Emergency　Action　Plan）

　ケガが発生してから慌てるのではなく、起こりうる事態を想定し事前の準備や計画をしっかりと立てましょう。事前に病院の受診時間なども調べておかないと、閉まっている可能性もあります。
　水や氷の確保も必要です。また、誰がリーダーとして指示を出すのか、判断するのかも決めておかないとケガが発生した後では混乱することもあります。
　このためには、ケガや病気の発生時のフィールドから医務室、病院への移送に至るまでの対応手順も含めて緊急時対応計画（EAP）をあらかじめ準備しておくことが重要です。

確認すべき項目

（1）メディカルキット（救急箱）の内容と使用法・使用期限
（2）AED（自動除細動器）や担架の存在と設置場所
（3）応急手当や担架搬送の役割を担うスタッフのスキルと協力体制
（4）フィールド内へ援助を呼ぶための合図
（5）水・氷の確保（特に夏季）
（6）フィールドからの退場経路、救急車の進入経路、搬送路
（7）競技場近くの病院、緊急連絡先の電話番号
（8）対応する責任者・リーダー
（9）プレーヤー・スタッフの連絡先（電話番号）

緊急時対応計画を共有することで、ケガや病気の発生時の対応がスムーズになり、その質を高めることができます。

神惑HP　Infoに「緊急時対応計画」として公開しています。

神　惑
JINWAKU RUGBY FOOTBALL CLUB

2023　安全・インティグリティ伝達講習会

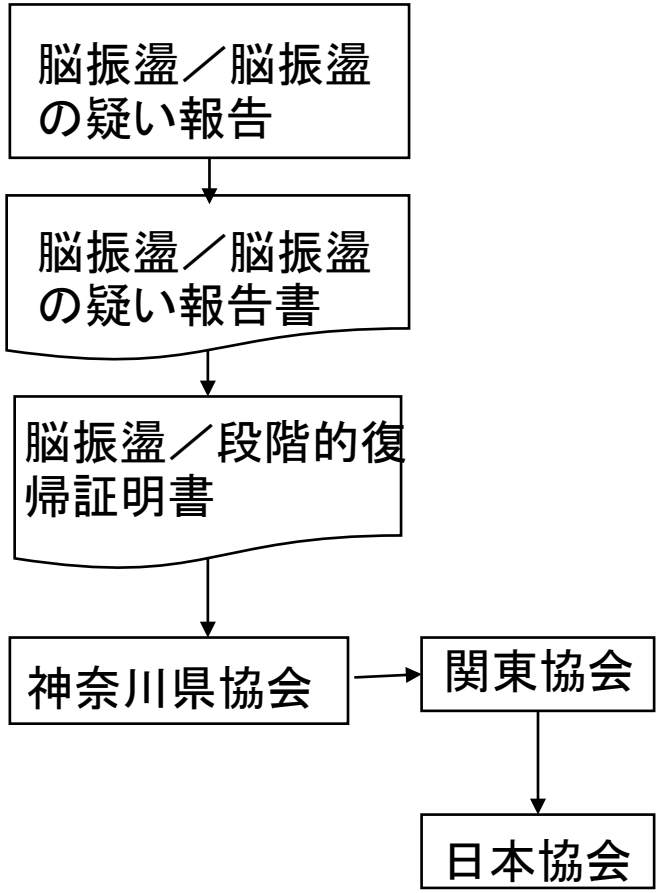
2．脳震盪について

2023.07.16　神奈川不惑クラブ

傷害報告

脳振盪/脳振盪疑い報告書＋傷害報告書1（見舞金申請書）

•脳振盪の場合も、審査が認められれば最大2万円が給付されます。



•報告義務者
–チーム責任者
–担当レフリー
–マッチドクター
•報告書提出先
–（提出必須）都道府県協会→各支部協会→日本協会
（大会の場合）大会本部または主管実行委員会
•報告の時期
–遅滞なく
•報告書フォーマット
–脳振盪／脳振盪の疑い報告書
–医師管理脳振盪／段階的復帰証明書

2023 安全・インテグリティ推進講習会
医務パート

【医務】①脳振盪の新たな管理方法 他

https://www.youtube.com/watch?v=_KHRGg1CboU&t=5s

神　惑
JINWAKU RUGBY FOOTBALL CLUB

2023　安全・インティグリティ伝達講習会

スクープ ストレッチャー

３．Scoop Stretcherを使った負傷者の搬送方法

2023.07.16　神奈川不惑クラブ

スクープ ストレッチャー

Scoop Stretcher は、2019 Rugby World Cup 日本大会の配分として、日本全国に配布されました。

神惑が使用する主なグランドでは、下記に配備されています。

・保土ヶ谷公園ラグビー場
・秋葉台公園球技場
・スポーツセンター（善行）（2023年度中に配備予定）

特に、神奈川県クラブ選手権（ワイルドリリーズ参加）では、Scoop Stretcher を必ず使用することになっています。

使用方法をしっかりと理解していないと、安全に使用することはできませんので、下記に示すビデオで確認をお願いします。

なお、ビデオでは、ネックカラーを使用していますが、ネックカラーは熟練した人が対応する必要があるので、無理に使用しなくても可との指導がありました。

＜ビデオアクセス＞

JRFU|日本ラグビーフットボール協会（https://www.rugby-japan.jp/）
＞競技者・レフリー普及育成＞安全対策＞安全対策関連動画
＞動画⑫ Scoop Stretcher を使った負傷者の搬送方法

神　惑
JINWAKU RUGBY FOOTBALL CLUB

2023　安全・インティグリティ伝達講習会

４．頸髄損傷の撲滅に向けて

2023.07.16　神奈川不惑クラブ

2023 安全・インテグリティ推進講習会

【コーチ】頸髄損傷の撲滅に向けて

https://www.youtube.com/watch?v=69lVsNY0wyg&t=16s

神　惑
JINWAKU RUGBY FOOTBALL CLUB

2023　安全・インティグリティ伝達講習会

5．インテグリティへの取り組みのお願い

2023.07.16　神奈川不惑クラブ

2023 安全・インテグリティ推進講習会

インテグリティへの取り組みのお願い

https://www.youtube.com/watch?v=_J3sI9bGWH0&t=4s

神　惑
JINWAKU RUGBY FOOTBALL CLUB

2023　安全・インティグリティ伝達講習会

付録1.AED活用推進

2023.07.16　神奈川不惑クラブ

参照資料

心肺蘇生法とAEDの使い方動画

～新型コロナウイルス感染症に対応した心肺蘇生法編～
【誰でもできる応急手当シリーズ】

https://www.youtube.com/watch?v=HIIhpbZa0Lg

「AEDの使い方」～誰でもできる応急手当シリーズ～

https://www.youtube.com/watch?v=U7PWMRQYk-8

神　惑
JINWAKU RUGBY FOOTBALL CLUB

2023　安全・インティグリティ伝達講習会

付録2.「安全対策」のための参考資料

2023.07.16　神奈川不惑クラブ

「安全対策」のためのマニュアル

参照資料

日本ラグビー協会発行
『2023 改訂版　ラグビー外傷・障害対応マニュアル』

300円/冊

協会ホームページより無料で
ダウンロード可能（PDF）

https://bit.ly/3QbZXC9

↑短縮URL

「安全対策」のためのマニュアル

「スポーツリスクマネジメントの実践」（日本スポーツ協会ホームページ）

参照資料

「スポーツリスクマネジメントの実践」 -スポーツ事故の防止と法的責任-

「スポーツリスクマネジメントの実践」　-スポーツ事故の防止と法的責任-

スポーツにはケガが付きものである、と言われています。しかし、意識不明の重体や死亡に繋がる事故は、指導者がリスクマネジメントの意識を持つことで防ぐことができます。

本書は平成21年度から平成25年度の5年間の間で全都道府県において実施したリスクマネジメント研修会の内容を、各地で出た質疑応答の内容も含めて取りまとめたものです。

クラブの事故防止に役立てられるよう、ぜひご活用ください！

A4判　全103ページ　白黒

- App　Store　iTunesでダウンロード⇒コチラから！
- Google　Play　Androidでダウンロード⇒コチラから！
- Web　Bookはコチラから！

http://www.japan-sports.or.jp/publish/local/tabid/936/Default.aspx

「安全対策」のための情報

参照資料

「熱中症を防ごう」（日本スポーツ協会ホームページ）

スポーツ医・科学研究

熱中症を防ごう

熱中症とは、暑熱環境で発生する障害の総称で、「熱失神」、「熱けいれん」、「熱疲労」、「熱射病」、に分けられます。
スポーツによる熱中症事故は、適切に予防さえすれば防げるものです。しかしながら、予防に関する知識が十分に普及していないため、熱中症による死亡事故が毎年発生しています。とくにこの数年、猛暑の夏が続き熱中症の危険性も高くなっています。
日本スポーツ協会では、熱中症予防の原則を「熱中症予防5ケ条」としてまとめ、熱中症事故をなくすための呼びかけを行っています。

2020年6月　熱中症予防に関する動画を作成し、公開しました。詳細はコチラ(ページ内の該当箇所に移動します)

- 熱中症の病型と救急処置
- スポーツ活動中の熱中症予防5ケ条
- 熱中症予防運動指針
- スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック
- 啓発動画「スポーツ活動中の熱中症予防」

熱中症の病型と救急処置

- 病型
- 救急処置
- 熱射病が疑われる場合の身体冷却

スポーツ活動中の熱中症予防5ケ条

1. 暑いとき、無理な運動は事故のもと
2. 急な暑さに要注意
3. 失われる水と塩分を取り戻そう
4. 薄着スタイルでさわやかに
5. 体調不良は事故のもと

http://www.japan-sports.or.jp/medicine/tabid/523/Default.aspx

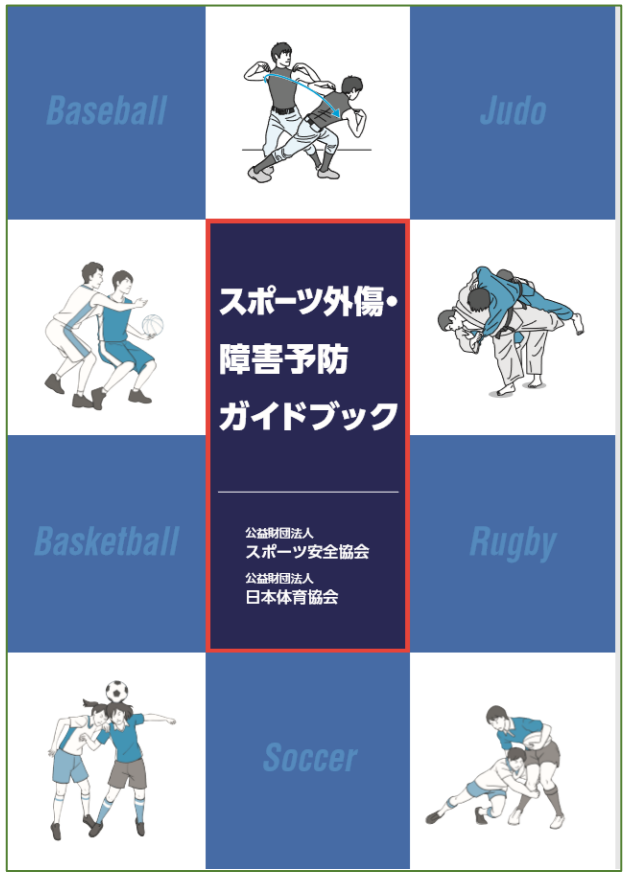
「安全対策」のためのマニュアル

参照資料

スポーツ安全協会発行
『スポーツ外傷・障害予防ガイドブック』

スポーツ安全協会ホームページより
無料でダウンロード可能（PDF）

http://www.sportsanzen.org/publish/publish.html



「安全対策」のための情報

参照資料

「スポーツドクター・スポーツデンティスト検索」（日本スポーツ協会ホームページ）

https://www.japan-sports.or.jp/coach/DoctorSearch/tabid75.html

地域・競技・診療科目毎に検索可能

スポーツ指導者(資格情報)

スポーツドクター・スポーツデンティスト検索

スポーツをする方の健康管理やスポーツによるケガの治療等にあたる「公認スポーツドクター」
「公認スポーツデンティスト」を、都道府県やスポーツ種目、診療科目（歯科含む）で検索でき

本検索ページでは、掲載のご承諾をいただいている方のみ公開しております。

公認スポーツデンティストを検索される場合は、
画面下段「診療科目」の「歯科」にチェックを入れてください。

地図から探す

都道府県ごとにスポーツドクターを検索することができます。
探したい県名をクリックしてください。

北海道 青森 秋田 岩手 山形 宮城 福島 新潟 富山 石川 福井 群馬 栃木 茨城 千葉 埼玉 山梨 長野 岐阜 滋賀 愛知 静岡 神奈川 東京 三重 京都 大阪 奈良 和歌山 兵庫 鳥取 岡山 島根 広島 山口 愛媛 香川 高知 徳島 福岡 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎 鹿児島 沖縄

種目・科目・都道府県・キーワードで探す

種目や科目など、詳細条件から絞り込んで検索することができます。
※スポーツ種目および診療科目は10項目までしか選択できません。

▸都道府県

指定しない

▸フリーキーワード

※市区町村名、病院名、アピールコメント名（入力例：足首・ねんざ）、ドクター名検索など

▸スポーツ種目

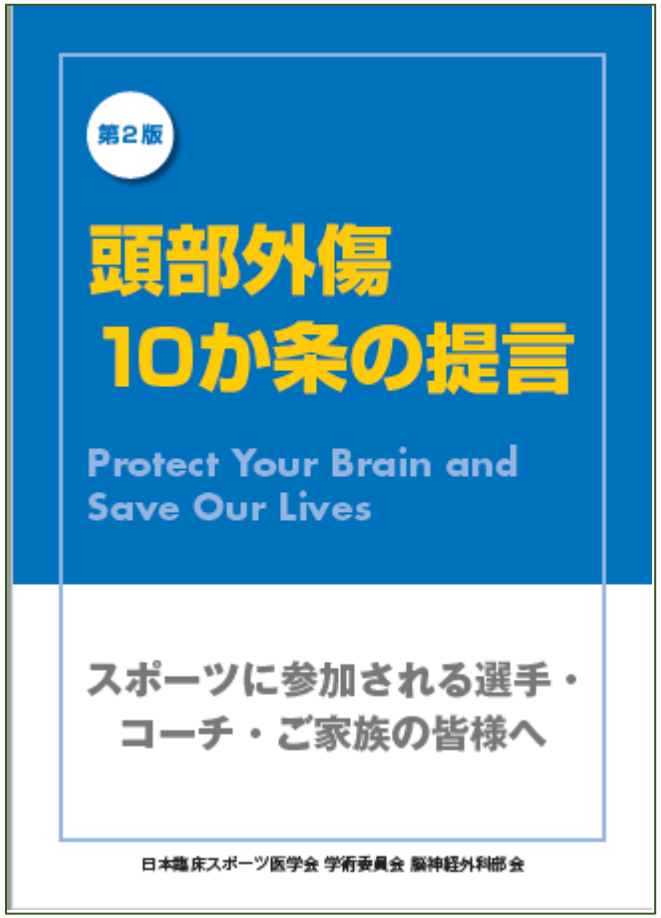
陸上競技	水泳	競泳	飛込み	シンクロナイズドスイミング
水球	サッカー	スキー	テニス	ボート
ホッケー	ボクシング	バレーボール	体操	一般体操
体操競技	新体操	バスケットボール	スケート	スピードスケート
ショートトラック	フィギュアスケート	レスリング	セーリング	ウエイトリフティング
ハンドボール	自転車	ソフトテニス	卓球	軟式野球
相撲	馬術	柔道	ソフトボール	フェンシング
バドミントン	弓道	ライフル射撃	剣道	近代五種
ラグビーフットボール	山岳	縦走	フリークライミング	カヌー

▸診療科目

内科	呼吸器科
心療内科	消化器科
胃腸科	循環器科
アレルギー科	リウマチ科
小児科	精神科
神経科	神経内科
外科	整形外科
形成外科	美容外科
脳神経外科	呼吸器外科

参考資料　「頭部外傷10か条の提言」

参照資料



https://concussionjapan.jimdo.com/

一般社団法人 日本臨床スポーツ医学会
学術委員会 脳神経外科部会

近年、スポーツ現場における頭部外傷、脳振盪への関心が高まっています。

ここ数年でいくつかの指針や提言が発表され、専門家のあいだでは徐々に認識が共有されつつありますが、一般の皆様にはまだ、おなじみでないことが多いように感じます。

そこで、私たちはこのほど「頭部外傷10か条の提言（第２版）」という小冊子を作成しました。

スポーツに関わるコーチや選手、ご家族の助けになることが主な目的で、専門的な知識を持たれない方々にもお読みいただけるよう、できるだけ平易な表現を心がけました。

が、それでも内容は難解です。目次にある「10か条」に目をお通しいただき、気になった項目だけをお読みくださるのでもかまいません。

皆様のお役に立つことを願っています。

ダウンロード可能